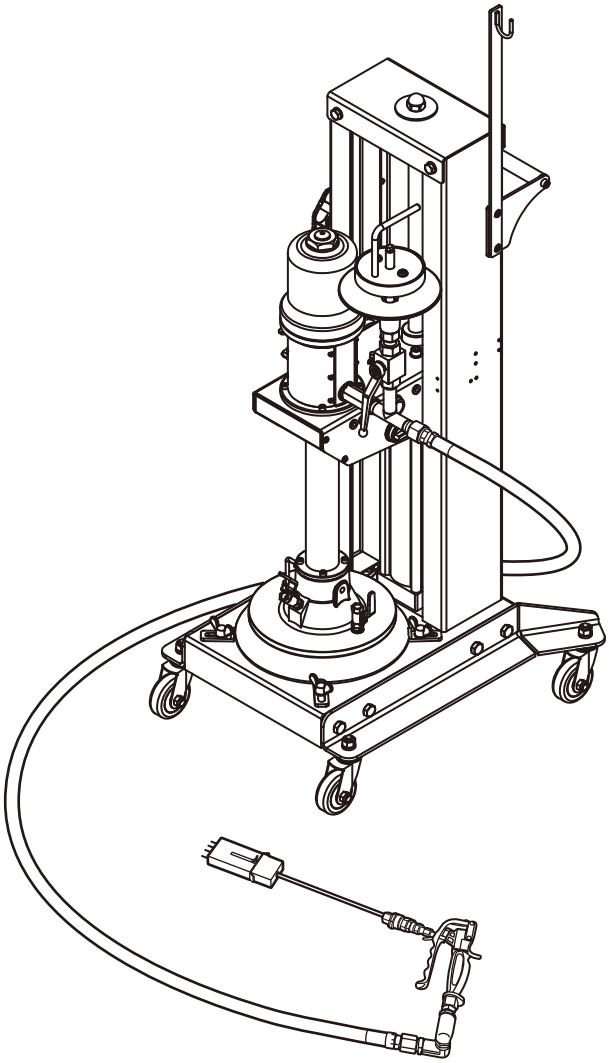
KTC
KYOTO TOOL

エアグリースフィーダー
No.AVG350
取扱説明書

業務用

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

販売者の名称・所在地： 京都機械工具株式会社
〒613-0034　京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品のお問い合わせはお客様窓口までお寄せください。

お客様窓口
☎ (0774)46-4159
FAX (0774)46-4359
E-mail：support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
（土・日・祝祭日及び弊社休業日除く）

製品情報 ktc.jp

製造国：台湾

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

T069020-0.18.08.KTC

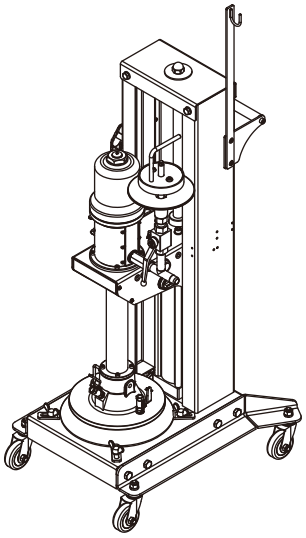
もくじ

製品の機能 2
梱包内容 2
開梱 3
梱包材の廃棄 3
製品仕様 4
エアグリースフィーダー　No.AVG350 4
安全シグナルについて 5
安全上のご注意 5
本体の使用方法 6
組立要領 6
エア圧の調整 6
グリース缶のセット 7
グリース缶の交換 8
コーン側スイッチの使用 9
ノズルアダプターおよびストレートアダプターの使用 10
保管方法とメンテナンス 10
故障かな？と思ったら 11
製品の廃棄について 11

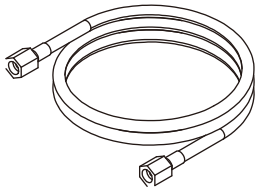
製品の機能

本製品は、トラックなどのテーパーローラーベアリングへグリースを注入する専用機器です。
その他の目的には、使用しないでください。

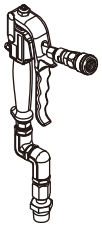
梱包内容



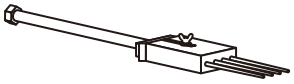
本体



ホース



ガン



ノズルアダプター

ストレートアダプター

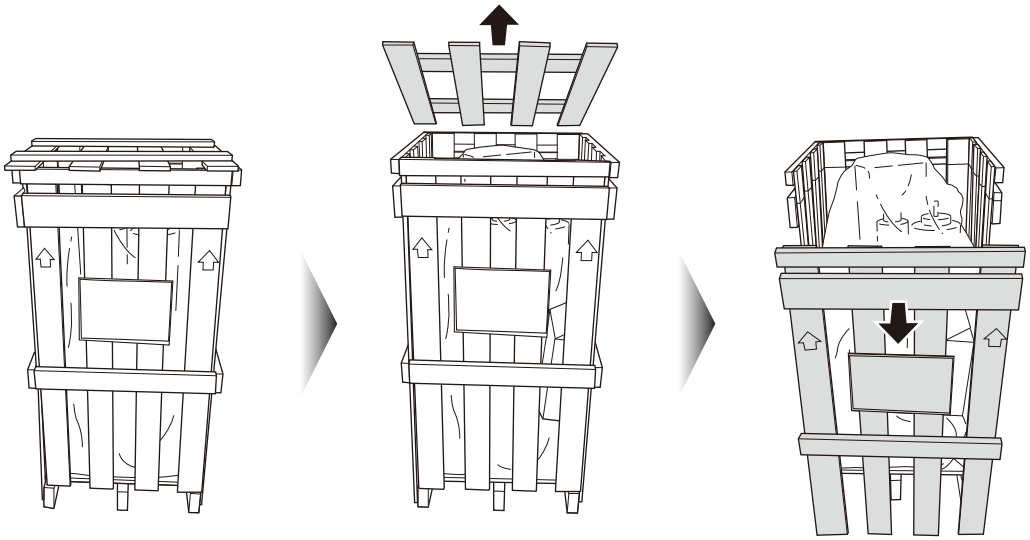
取扱説明書

開梱

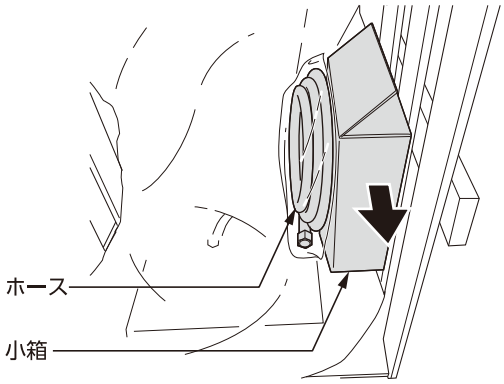
開梱は、次の手順で作業します。

!	開梱時は、釘や木のバリに注意してください。

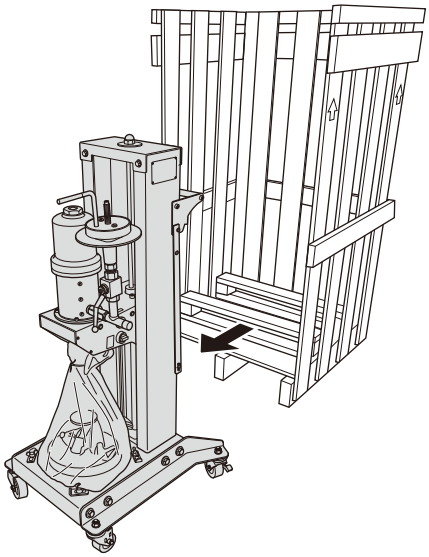
1. 木枠を分解する。



2. 小箱とホースを木枠から取り出す。



3. 本体を木枠から取り出す。

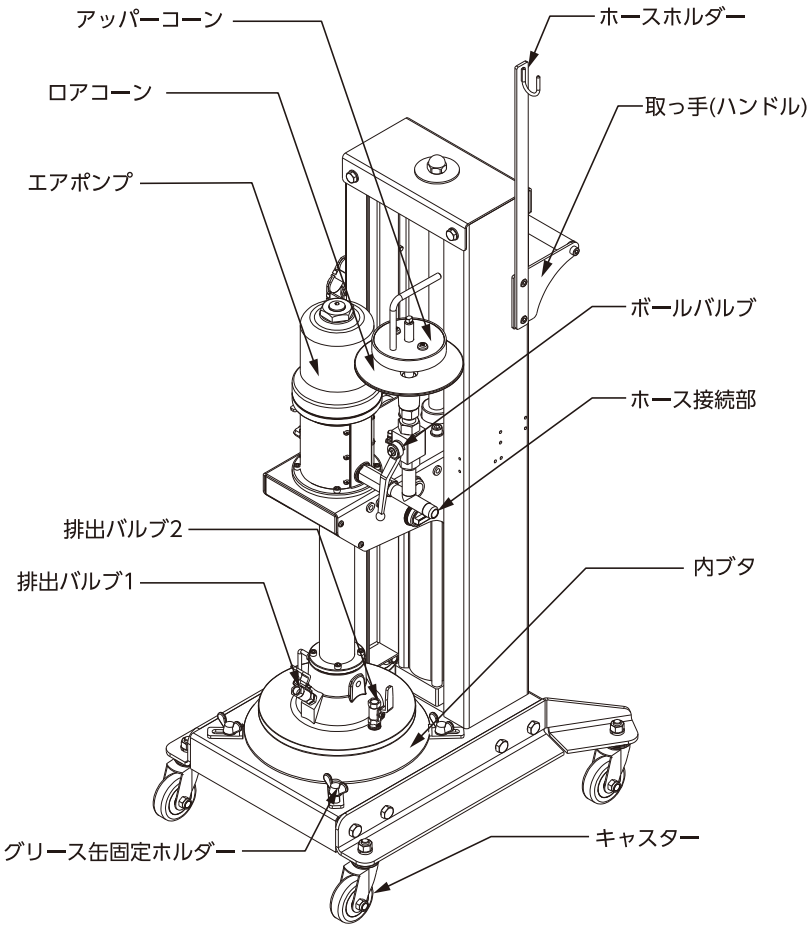


梱包材の廃棄

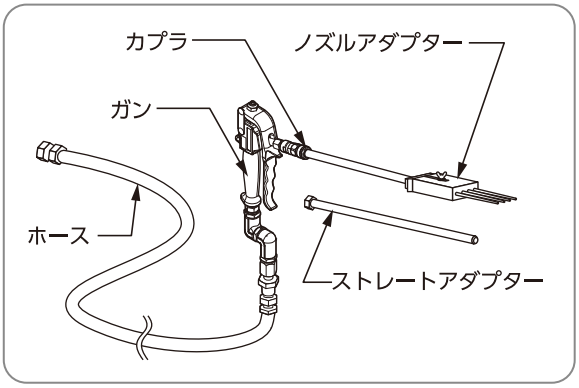
本製品の梱包材を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。

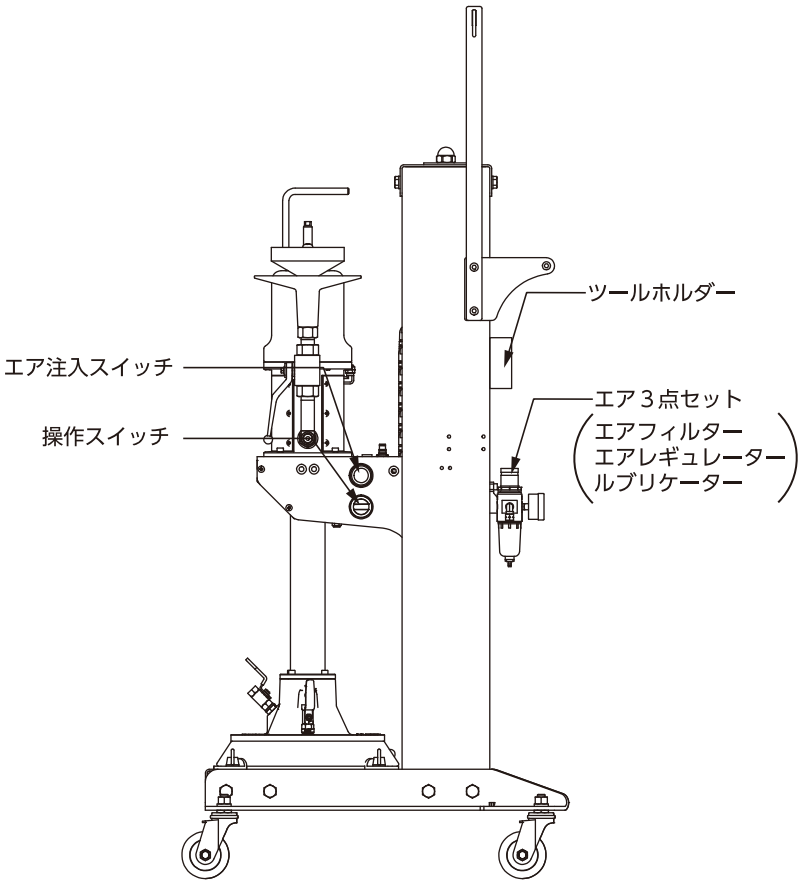
製品仕様

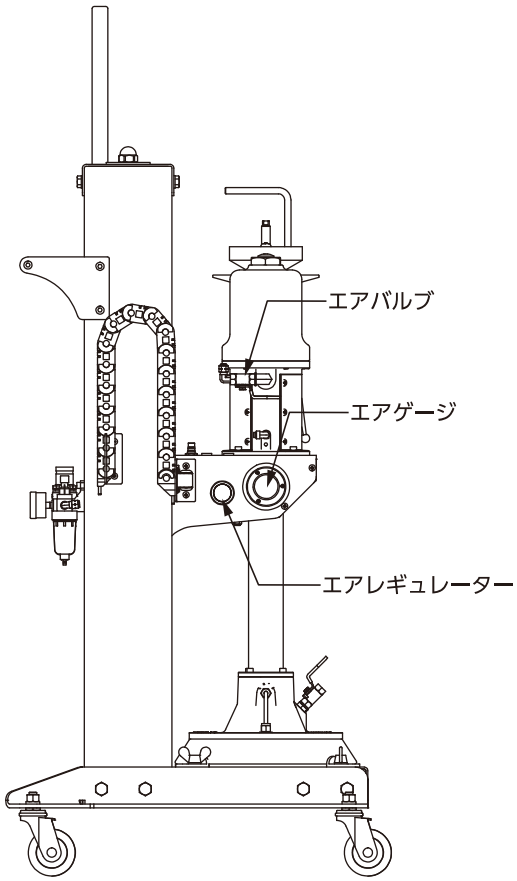
エアグリースフィーダー No.AVG350



ポンプ方式	エア駆動型
駆動源	圧縮空気
入力エア圧力	0.4 ～ 0.9MPa
最大吐出圧力	40.5MPa
圧縮比	45：1
ポンプストローク	65mm
適用グリース	NLGI No.0 ～ No.3
適用グリース缶	16kg（推奨缶内径265 ～ 285mm）
エアフィルター	自動排出式
オイラー	容量25ml
ホース長さ	2500mm
使用環境温度	0℃～ 40℃
使用グリース温度	-10℃～ 40℃
重量	≒ 80kg
外寸（ポンプ下限値）	1390 × 560 × 580mm







※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。

⚠警告　誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意　誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

⚠ 拡大損害が予想される事項	禁止行為
必ず行う	分解禁止

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

⚠警告　死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	• ガソリンやガスなどの引火性の高い危険物の近くで作業しない。	爆発や発火により死亡や重症を負う原因となる。
	• 稼働しているエアポンプ部に触らない。	重傷となるケガの原因になる。
	• 本体を移動させる際は、必ず取っ手（ハンドル）を握る。	ケガや破損の原因になる。
	• 暗い場所に設置したり、移動したりしない。また、暗い場所で作業しない。	本体の転倒により死亡や重症を負う原因となる。
	• 使用時は、保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を着用する。	ケガの原因になる。
	• 作業対象物を必ず固定する。	ケガや破損の原因になる。
	• 製品または作業対象物に亀裂や変形などの異常が認められた場合は、使用しない。	ケガや破損の原因になる。

⚠注意　ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	• 分解および改造をしない。	ケガや破損の原因になる。
	• 保守点検を必ず行う。	ケガや破損の原因になる。
	• 本体に亀裂や破損がないかを確認する。	ケガや破損の原因になる。
	• 小さい子供がふれない所に保管する。	ケガや破損の原因になる。
	• ボールバルブおよびガンで始動できない製品は使用を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	• 本体が熱くなったり、異常を感じたりした場合は、使用を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	• 直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	破損の原因になる。
	• 水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	破損の原因になる。
	• 取扱説明書に記載している以外の用途には使用しない。	ケガや破損の原因になる。
	• 化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。
	• 本来の使用用途以外には使用しない。	ケガや破損の原因になる。
	• 修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	破損の原因になる。
	• 本製品は、必ず法令で定められた資格を保有する者（自動車整備士またはそれに準じた資格取得者）が使用する。	ケガや破損の原因になる。

⚠注意　ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
⃠	• グリースの注入以外には使用しない。	破損の原因になる。
⃠	• 本体を凍結させない。	破損の原因になる。
⃠	• 斜面および凹凸のある場所で使用しない。	ケガや破損の原因になる。
⃠	• 指定部品（ホースなどの補給部品）以外は使用しない。	破損の原因になる。
⃠	• ガンスイッチのホースを強く引っ張ったり、折り曲げたりした状態で使用しない。	ケガや破損の原因になる。

本体の使用方法

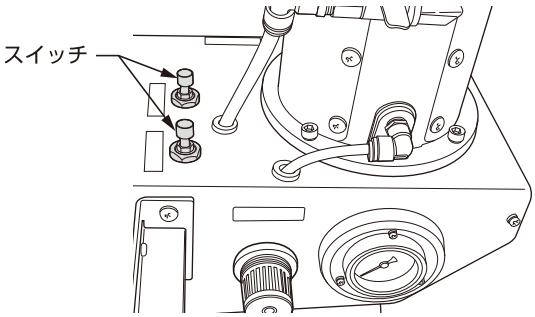
⚠注意　ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
❗	• 作業対象物を確実に装着する。	ケガや破損の原因になる。
❗	• 先端具の交換時は、必ずエアカプラを取り外す。	ケガや破損の原因になる。
❗	• 洗浄や乾燥した圧縮空気を使用する。	ケガや破損の原因になる。
❗	• 必ず専用のホース、ガン、アダプターを使用する。	ケガや破損の原因になる。
❗	• エアカプラを確実に取り付ける。	ケガや破損の原因になる。
❗	• 先端具がしっかり装着されているかを確認する。	ケガや破損の原因になる。

組立要領

1. 本体のホース接続部にホース、ガン、アダプターを取り付ける。

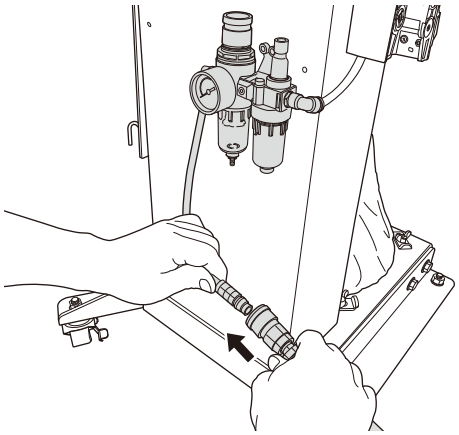
⃠

右記のスイッチは製品生産時に調整するスイッチのため、
お客様では触れないでください。

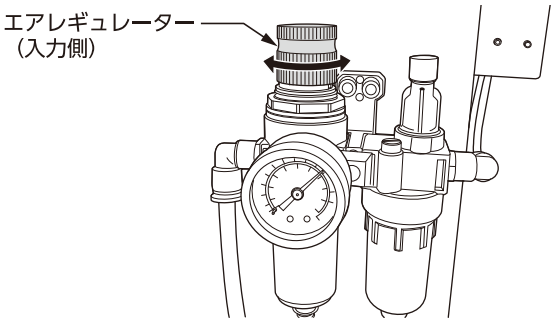


エア圧の調整

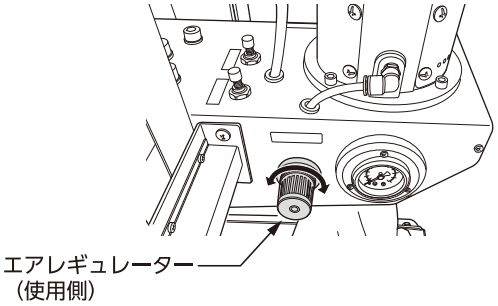
1. エア３点セット（エアフィルター、エアレギュレーター、ルブリケーター）にエアカプラを取り付ける。



2. エア３点セットのエアレギュレーター（入力側）で、エア圧を調整する。（0.6 ～ 0.9Mpa）



3. 本体左側面のエアレギュレーター（使用側）でエア圧を調整する。（0.5 ～ 0.9Mpa）



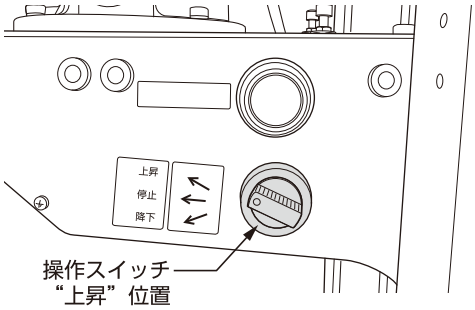
⃠	連続して１分以上空打ちしない。

確 認	出荷時、入力側圧力は 0.6MPa、使用側エア圧は 0.5MPa に調整しています。 推奨エア圧（入力側）：0.6 ～ 0.9Mpa

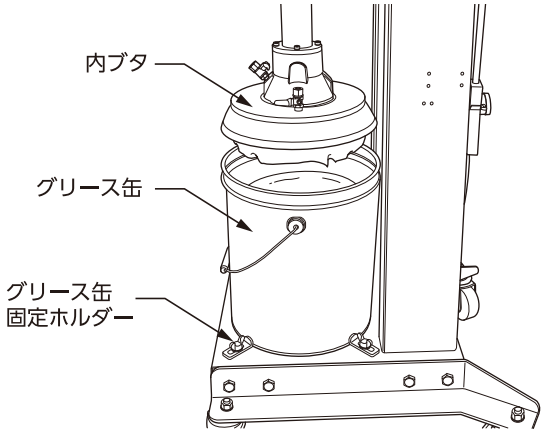
グリース缶のセット

1. 本体右側面にある操作スイッチを“上昇”位置に切り替える。

ポンプが上昇する。



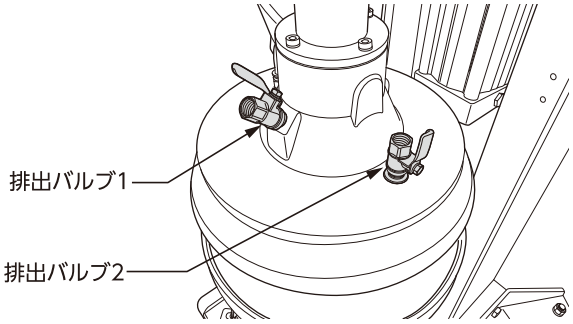
2. グリース缶を内ブタの下にセットする。（目分量でセンターに合わせる）



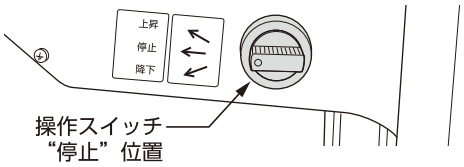
3. 内ブタに設置されている排出バルブ１と排出バルブ２を開ける。

いずれかのバルブから残空気およびグリースが排出されたら、両バルブともに閉じる。

確 認	排出バルブ１と排出バルブ２は、内ブタをグリース缶に装着する際、残空気と共にグリースを排出するものです。

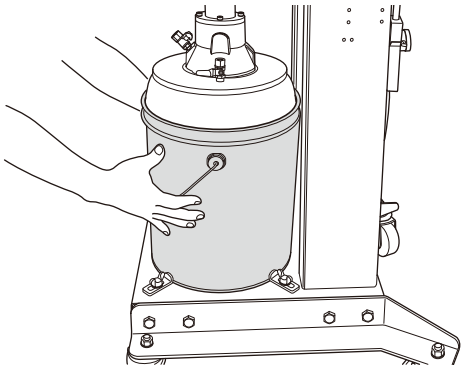


4. 操作スイッチを“停止”位置に切り替える。

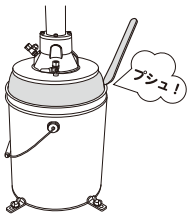


5. 内ブタが自重で下がり始めたら、グリース缶の位置を調整しセンターを合わせる。

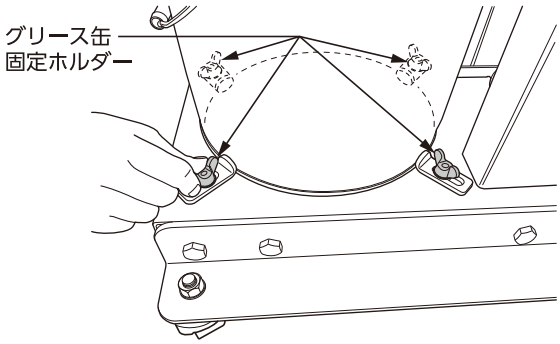
グリース缶内に内ブタが入り込むと、自動で停止する。



- グリース缶に対し、内ブタが入り難い場合や、グリース缶内側のリブ部(凹部)に内ブタの外周部が入りこんでしまう場合は、ヘラなどで内ブタの端部を押し下げ内部のエアを開放し、グリース缶内に内ブタを押し入れてください。



- 内ブタ装着時、グリース缶とのセンターが合ってないと内ブタが変形する恐れがあります。
- 操作スイッチの“下降”は、グリース温度が低いときに、グリースと内ブタの密着性を高めるために使用します。
- 通常時は、“停止”位置の自重で使用してください。

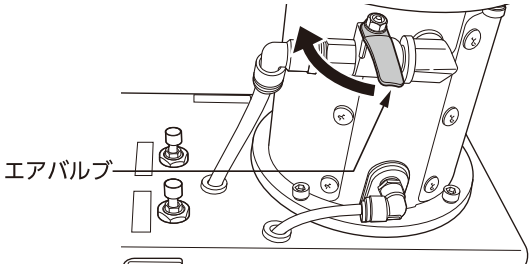


6. グリース缶固定ホルダーでグリース缶を固定する。

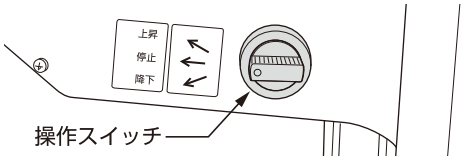
7. 本体左側面のエアポンプ部にあるエアバルブを開く。

稼働状態になり、エアポンプが作動する。

エアポンプ内にグリースが充填されると、自動でエアポンプが停止する。



- グリース温度が低い場合やグリース粘度が高い場合、エアポンプが停止せず空打ちすることがあります。その場合は、操作スイッチを“下降”位置に切り替え、内ブタを密着させてください。
  ポンプが停止したら操作スイッチを“停止”位置に戻し使用してください。
- エアポンプが停止せず、空打ちが続く場合は、ロアコーン下のボールバルブを開き、グリースを吐出させるか、ガンを操作しアダプターからグリースを吐出させ、残留空気およびエア混じりのグリースを除去してください。



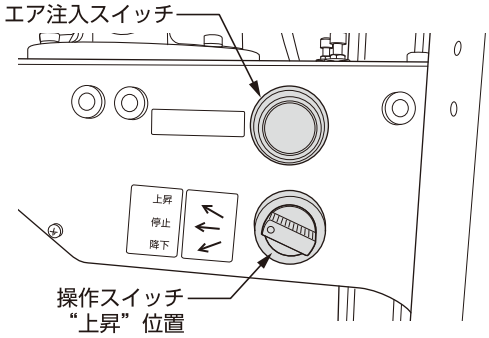
グリース缶の交換

1. 操作スイッチを“上昇”位置に切り替える。

エアポンプが上昇する。

エアポンプの上昇とともにグリース缶も上昇する。

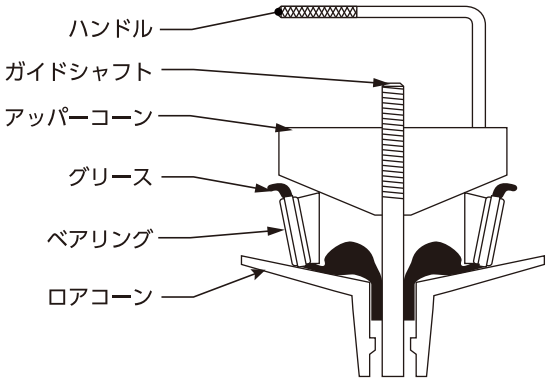
2. エア注入スイッチを押し込み、内ブタからグリース缶を外す。



上昇時、エア注入スイッチを押すと、内ブタとグリース缶の間にエアを注入します。
この際、グリース缶が離れ、落下する恐れがあります。

コーン側スイッチの使用

車両から取り外したベアリングをアッパーコーンとロアコーンに挟み込み、グリースを注入します。

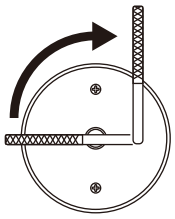


チャッキング方法

ガイドシャフトにはねじが設けてあり、アッパーコーンのハンドルを操作してガイドシャフトのチャッキングを行います。

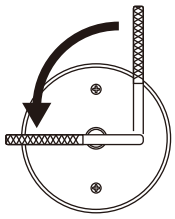
固定

ハンドルを時計方向に回すと、ガイドシャフトのねじにアッパーコーンのねじがかみ合います。



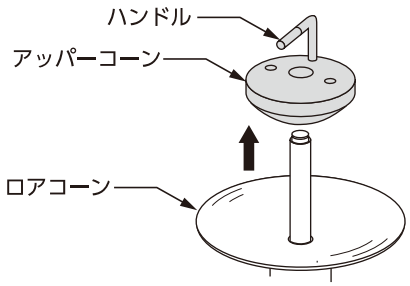
解除

ハンドルを反時計方向に回すと、ガイドシャフトのねじが外れ、アッパーコーンを上下に動かせます。

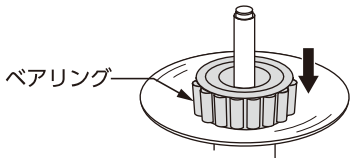


作業手順

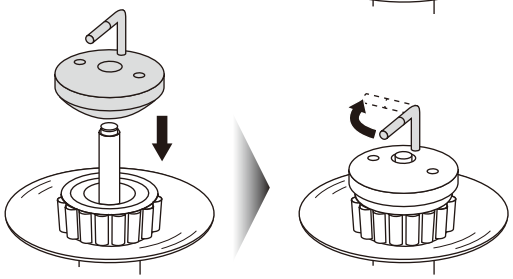
1. **アッパーコーンのハンドルをチャッキング解除方向（反時計回り）へ回し、アッパーコーンを上に抜き取る。**



2. **グリースを注入したいベアリングを、ロアコーンの中心にセットする。**



3. **アッパーコーンをガイドシャフトに挿入し、アッパーコーンのハンドルを固定方向（時計回り）へ回しチャッキングする。**

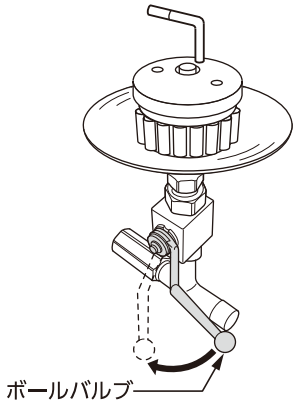


4. **ボールバルブのレバーを操作し、グリースを注入する。**

5. **古いグリースが押し出され、新しいグリースが見えたらボールバルブを操作し、注入作業を完了する。**

6. **アッパーコーンのハンドルを解除し、ガイドシャフトからアッパーコーンを抜き取り、ベアリングを取り出す。**

7. **グリース注入作業が完了したら、周辺グリースを除去（清掃）する。**

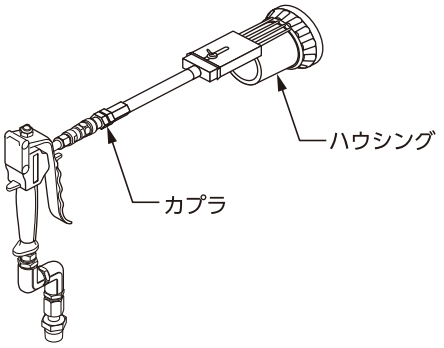


ノズルアダプターおよびストレートアダプターの使用

ベアリングが車両に付いた状態のまま、グリースを注入します。

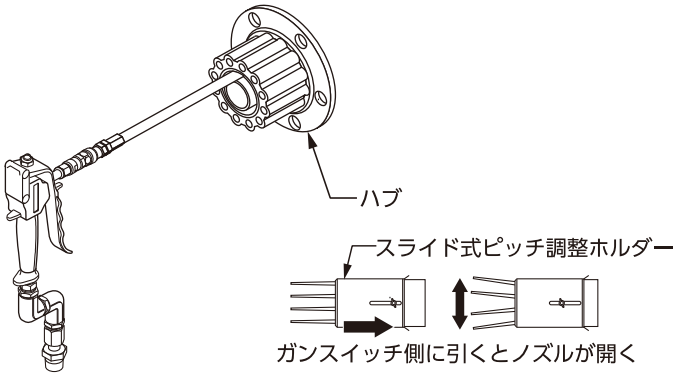
ノズルアダプターを使用する場合

フロントおよびリアハウジングに取り付いた状態のインナーベアリングへグリースを注入します。



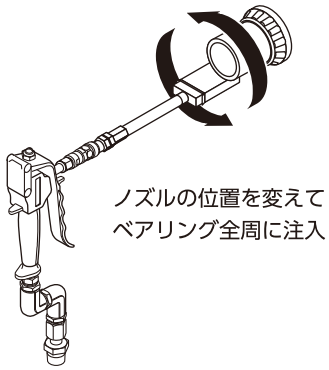
ストレートアダプターを使用する場合

ハブとアウターベアリングのすき間へのグリース注入およびグリースガンなどへの充填ができます。



作業手順

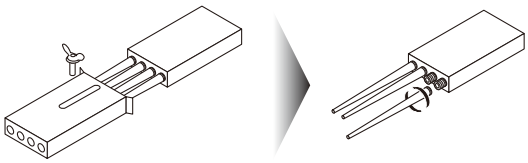
1. **ノズルアダプターをガンスイッチに取り付ける。**
2. **スライド式ピッチ調整ホルダーでベアリングローラーのすき間にノズル先端を合わせ、ピッチ調整ホルダーを蝶ねじで固定する。**
3. **ベアリングローラーのすき間に、ノズルを挿入する。**
4. **ガンスイッチを握る。**
   グリースの注入が始まる。
5. **新しいグリースがベアリングに注入できたらガンスイッチを離す。**
6. **ノズルの位置を変えてベアリング全周にグリースを注入する。**



ノズルの交換手順

1. **スライド式ピッチ調整ホルダーを取り外す。**
2. **ノズルはねじ込み式のため反時計回りに取り外す。**
3. **交換するノズルを時計回りにねじ込む。**

!	ノズルが変形や破損した場合、新品のノズルと交換してください。（ノズルは補給部品として設定しています。）



保管方法とメンテナンス

- 作業終了後は入力エアカプラを取り外し、ボールバルブおよびガンを操作し、グリースを吐出させ機器内の残圧を除去する。

!	エア圧を掛けた状態で放置すると、機器内に高圧力が掛かり、内部部品の破損や機能不良の原因になります。 必ず入力側のエアカプラを取り外し、残圧を除去して保管してください。

- 本製品は精密機器につき、凍結させたり水分などがかからない屋内で保管する。
- エアフィルターを点検し、水分が溜まっている場合は除去する。

!	• 万一凍結した場合は、入力エアカプラを取り外し、暖かい場所（20℃以上）で40分以上放置して、凍結を解除してください。 • 凍結状態で本製品を作動させると、シリンダしゅう動部などが破損するおそれがあるため、必ず凍結が解除された状態で使用してください。

- エア3点セットのオイラーの推奨オイルはISO32相当のエアツール用オイルを使用する。
- オイラーオイルは、使用頻度に応じて1週間に1回程度を目安に交換する。
- ノズルアダプターのノズル部、ホースは消耗するため、表面に変形などの劣化が見られた場合は交換する。

!	本製品を清掃する際にシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

- ホースおよびノズルアダプターはきれいな布などで拭き取り、所定の位置（ホースホルダーまたはツールホルダー）へ保管する。

!	• ノズルアダプターからの吐出量が低下した場合、ノズルの先端に異物が詰まったり、摩耗や変形で詰まったりする可能性があります。使用前に必ず確認してください。 • 万一目詰まりをしている場合は、針金などを使用して除去するか、カッターナイフなどを使用して先端部分をカットしてください。ただし、先端部分をカットすると、ノズル先端部分が太くなり、ベアリングへの装着性が低下します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症　状	考えられる原因	対処の方法
エアポンプが動かない。	エアホースが接続されていない。	エアホースを接続する。
	エアホース内径が細い。	エアホース内径はΦ11以上を推奨。
	エアがきていない。	エアを確保する。
	エアコンプレッサーが稼働していない。	エアコンプレッサーを稼働させる。
	エアレギュレーターが開いていない。	エアレギュレーターを開ける。
	エア圧が適正でない。	適切なエア圧に調整する。
	エアフィルター内に水分が溜まっている。	手動で溜まった水分を抜き取る。
	本体内部にグリースが充填されている。	ガンまたはボールバルブを操作しグリースを吐出させる
	本体が凍結している。	暖かい場所に放置し凍結を解除する。
エアポンプが停止しない。	本体内部にエアが噛んでいる。	詳細は**P8**を参照してください。
	グリース缶が空になっている。	詳細は**P7**を参照してください。
	グリース缶が凹んでいる、または変形している。	
	内ブタがグリース缶に装着されていない。	
	各接続部からエアが漏れている。	接続部の取り付けを確認する。
	各しゅう動部品が消耗している。	修理を依頼する。
グリースが吐出しない。	本体内部にエアが噛んでいる。	詳細は**P8**を参照してください。
	グリース缶が空になっている。	詳細は**P7**を参照してください。
	グリース缶が凹んでいる、または変形している。	
	内ブタがグリース缶に装着されていない。	
	ノズル先端に異物が詰まっている。	異物を取り除く。
	各接続部から漏れている。	接続部の取り付けを確認する。
	本体が凍結している。	暖かい場所に放置し凍結を解除する。

- 上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止してください。
- 各部の点検で症状の改善が見られない場合は、KTCお客様窓口またはお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

その他修理などのお問い合わせは、KTCお客様窓口またはお買い上げの販売店などにご相談ください。
お客様窓口
受付時間　9：00 ～ 12：00/13：00 ～ 17：00（土・日・弊社休日除く）
TEL. 0774-46-4159　　Email : support@kyototool.co.jp
FAX. 0774-46-4359　　製品情報　ktc.jp

販売者の名称・所在地：　京都機械工具株式会社
〒613-0034
京都府久世郡久御山町佐山新開地128 番地

KTC®
KYOTO TOOL

No.T069020-0.18.08.KTC